

1 題材 日本の歌の良さを味わおう

2 目標

- 積極的に活動に取り組み、進んで歌唱表現しようとする。(関心・意欲・態度)
- 楽曲の特徴を理解し、情景を感じることができる。(音楽的な感受や表現の工夫)
- 歌詞の内容や曲想にふさわしい表現の工夫ができる。(表現の技能)

3 教材

- 浜辺の歌 (林古溪 作詞/成田為三 作曲)

4 指導観

- 本題材は、学習指導要領の第2学年及び第3学年の表現の内容(1)ーア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること」をねらいとして設定したものである。

音楽にはそれぞれ、その曲自体に込められた想いや情景がある。その曲想を感じ取って聴いたり、そこに込められた想いを想像しながら表現したりすることは、そのこと自体が音楽を楽しむということである。ここでねらいとする「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること」は、生徒自身がなぜこういうイメージや感情をもったのかという根拠を、歌詞や曲の仕組みの中に探すという行為に繋がっていくということである。このことによって、その曲の特徴をつかむことができるようになり、曲にふさわしい表現がどのような表現であるかが分かってくる。本教材は、現在多くの日本人に愛唱され、日本を代表する歌の1つとして外国で演奏されることも多い名曲で楽曲構成も分かりやすく表現のしやすいものになっている。また全体の豊かな響きを感じ取ることができる曲である。

- 本学級は男子16名、女子18名の計34名で構成されており、音楽の授業に意欲的である。現在は、しっかり声を出す雰囲気作りをしながら、少しずつ合唱活動を始めたところである。生徒は1年生のときに、シューベルト作曲「魔王」で歌詞や曲想から情景をイメージすることを学習している。また素直に話を聞く態度もあり、発問に対しても積極的に発表することができる。

- そこで本題材では、教材「浜辺の歌」の曲想を十分に感じ取る活動を通して、曲想にあった表現の美しさに気づくようにし、自分たちの表現に工夫して活かすことから、豊かな表現への意識や意欲が高まるようにする。

まず、教材の範唱CDを聴いたり歌詞解釈をしたりすることで曲に対するイメージをふくらませ、どのような表現をしたいかを全体で統一させたい。その後、曲中の旋律、速度、強弱などの曲の構成要素を確認しながら練習をしていきたい。そして全体で構成の確認をし、歌い方や表現の充実を図るために全体で歌うことでより曲の雰囲気、曲想、美しさ、豊かさといったものを生徒に感じ取らせたい。さらに単元のふりかえりを通して、これからの学習に活かしていこうという気持ちを高め、さらに音楽に親しんでいこうとする心情が高まるようにする。

5 指導計画

日本の歌の良さを味わう・・・2時間

- (1) 正しい音程で言葉をはっきりと歌うことができる——1時間
- (2) 歌詞内容や曲想から、情景を感じて歌うことができる——1時間(本時)

6 本時の目標

- 「浜辺の歌」の歌詞内容を理解することができる。
- 楽曲の特徴を理解し、情景を感じて歌うことができる

7 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	準備物
1. 「浜辺の歌」のメロディを確認する。 ●作詞者・作曲者の名前を確認する。 ●メロディと歌詞が一致するように斉唱する。	○姿勢やのどの奥の開け方に注意するように指導する。 ○曲の出だしの音が中学2年生の男子にとって出にくい音だということに触れる。 ○音が取れているかを確認しながら伴奏する。 ○歌詞が正しくメロディに当てはまっているかを確認する。 ○繰り返し音取りをして、楽に歌えるように指導する。 ○子音に注意して歌うように指導する。	ワークシート 模造紙
2. 「浜辺の歌」の歌詞の内容を考える。 ●昔の言葉の意味を理解する。	○歌詞全体を通して意味を理解できるように指導する。	模造紙
3. 歌詞や曲想から情景をイメージする。 ●ワークシートを用いて浜辺の歌の情景を考える。 ●ピアノ伴奏から波の様子を感じとる。 ●伴奏形から、作曲者が「浜辺の歌」に込めた気持ちを考える。	○生徒が情景をイメージしやすいように、教師が弾き歌いをする。 ○個人で考えたものをグループで話し合い、発表させる。 ○実際にピアノを弾いて生徒自身が気づくようにする。	ワークシート 初イトボード ペン
4. 斉唱する。 ●イメージした情景をどのようにして歌唱表現に生かすのかを考えて歌う。	○生徒が考えやすいように伴奏形を何パターンか弾く。 ○作曲者がどういう気持ちで伴奏の形を決めたかを考えさせる。 ○個人で考えたものをグループで話し合い、発表させる。 ○発声をするときに腹筋に力を入れて、声押し出すように指導する。 ○楽譜で盛り上がるの場所を確認させることにより、曲にメリハリがあることに気づかせる。 ○速度に注意しながら歌うように指導する。 ○イメージしやすいように、貝を提示したり写真を貼る。	初イトボード ペン
5. ワークシートに感想を記入する。		ワークシート
6. 本時のまとめをする。	○曲の音楽性が高いので、永く歌い継いでいってほしいと触れる。	

「浜辺の歌」

2年[]組[]番 名前[]

目標①「浜辺の歌」の歌詞内容を理解することができる。

②楽曲の特徴を理解し、情景を想像しながら歌うことができる。

作詞[] 作曲[]

1.

あした浜辺を さまよえば
むかしのことぞ 忍ばるる
風の音よ 雲のさまよ
寄する波も かいの色も

2.

ゆうべ浜辺を もとおれば
昔の人ぞ 忍ばるる
寄する波よ かえす波よ
月の色も 星の影も

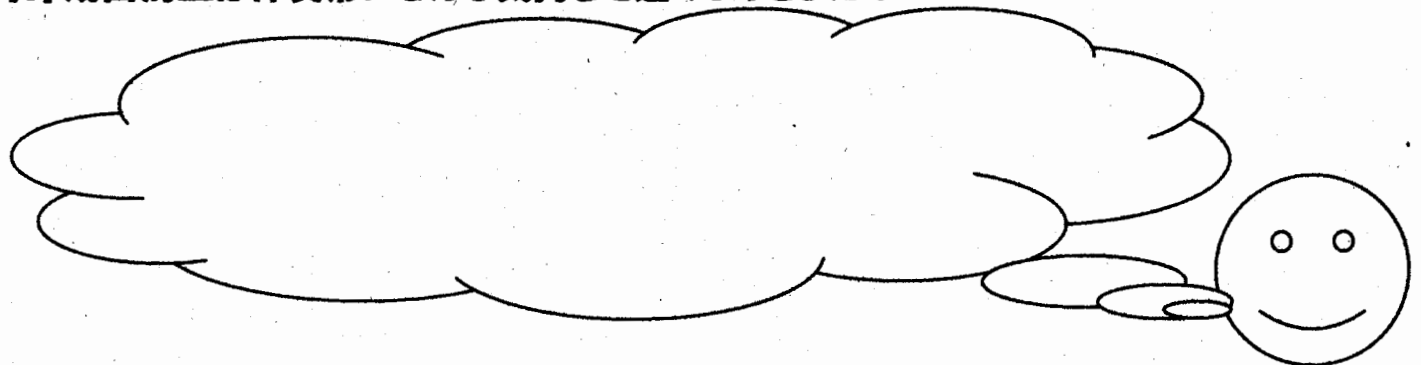
[1]. 情景を想像しよう。

- ①この歌の季節はいつ? ()
- ②この日の浜辺の天気は? ()
- ③浜辺にいるのは何人? ()
- ④この浜辺に来たのは何回目? ()
- ⑤この日の波は? ()
- ⑥「昔の人」って誰? ()

[2] 伴奏は何を表現している?→()

理由…

[3] 成田為三は伴奏形にどんな気持ちを込めようとした?



自己評価

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ① 言葉の発音に注意しながら歌うことができましたか | A | B | C |
| ② 「浜辺の歌」の歌詞の意味が理解できましたか | A | B | C |
| ③ 情景を思い浮かべることができましたか | A | B | C |
| ④ 伴奏形から作曲者の気持ちを想像することができましたか | A | B | C |
| ⑤ 情景を思い浮かべたり作曲者の気持ちを考えたりしながら歌うことができましたか | A | B | C |
| ⑥ 1時間を通して、意欲的・積極的に活動できましたか | A | B | C |

感想

